

ほろかない

Public Relations Magazine

Horokanai



特集 ◆ 平成28年度予算・町長施政方針・教育長行政執行方針

CONTENTS

- 町長施政方針… 2
- 教育行政執行方針… 8
- 平成28年度予算… 11
- news spot (ニューススポット) … 14
- information… 16
- 役場機構図… 18
- 年金だより… 21
- こんにちは保健師です… 22
- NEWWIND (ニューウインド) … 23

<http://www.town.horokanai.hokkaido.jp/>

APRIL 2016

4

No.724

平成28年度町長施政方針

幌加内町長 細川 雅 弘

3月8日(火)に行われた、平成28年第1回議会定例会において、細川町長より施政方針が示されましたので、その要旨をご紹介します。



はじめに

平成28年第1回議会定例会の開催にあたり、新年度の町政執行の所信と予算編成方針を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年の選挙において町長に就任し、5月に所信表明をさせていただきましたが、選挙公約のもと、調和のとれたまちづくりを目指し、昨年の8月からは、「町長への手紙」の募集を始め、11月からは町政懇談会を10箇所で開催し、数多くのご意見、ご要望を

いただきました。

私どもが気づかないことも多くあり、住民との対話が大切であると感じたことに加え、行政課題が山積する中、その責務の重さを改めて痛感しております。

今議会に提案させていただいており、第7次総合振興計画が本格スタートとなる年ですが、基本理念を「人に自然にやさしい故郷づくり」将来像を「夢と誇りを持って生きいきと暮らすまち」と定め、今後10年間のまちづくりの道しるべとし、町民が安心できるまちづくりを優先的な課題として、取り組んでまいりたい所存です。

また、国が進める「総合戦略」にもとづき、本町においても地方創生の取り組みが本格化するにあたり、新型交付金の内容を十分に精査し、推進してまいります。

新年度予算 取り組み方針

国では、「経済・財政一体改革」を大きく進展させるため、「公的サービスの産業化」、「インセ

ンティブ改革」、「公共サービスのイノベーション」に歳出改革を反映するとしています。

地方財政は、国庫支出金等を見直すとともに、地方創生予算を重点的に行うことにより、新型交付金を創設・活用し地方創生の進化を図り、また、地方交付税制度は、頑張る地方自治体を支援する算定を強化・推進するとしており、今後の国の予算の状況と地方財政対策の具体的な内容を注視していく必要があります。

本町の財政状況は、平成26年度決算で、財政調整基金に1.5億円を積み立てることができ、基金全体で42億円の残高となりました。

一方、歳出における地方債年度末残高は、前年比3千万円減の37.5億円となり、残高が減少し、平成21年度から平成25年度までに約10億8千万円の縁故債を繰上償還したことにより、実質公債費比率は、前年比1.4%減の3.8%と全道的に見ても健全な財政状況となっております。

しかしながら、一般会計歳入の5割以上を占める地方交付税は、国の出口ベースで0.3%

の減、国勢調査による人口減などのマイナス要因があり、歳入の確保が課題であるとともに、歳出面では、職員定員適正化計画の着実な実施や縁故債繰上償還の継続的な実施により義務的経費の減少が見込まれているものの、学校耐震化整備事業に係る公債費償還金の増加を始め、病院再編に伴う施設の新設及び解体、各公共施設の改修も今後必要になることから、これまでに以上に財政効率化を図り、確かな予算執行が必要不可欠な状況であります。

予算概要

一般会計、特別会計を合わせた総予算額は、45億2316万8千円で、前年対比2億5772万1千円の増、プラス6.0%となっております。このうち、一般会計は、37億9226万3千円で、前年対比6億148万1千円の増、前年度は骨格予算であり、それと比較してプラス18.9%、その後の肉付け予算との比較では、逆にマイナス14.1%となります。

総務課関係

国の重点課題として、インフラ長寿命化基本計画を策定しており、地方公共団体でも公共施設等の総合的な管理を推進するため、計画の整備が必要となります。そのため、平成27年度は、基礎資料となる固定資産台帳の整備を行い、今年度は公共施設等総合管理計画の策定を行います。また、町立病院の廃止に伴う、建物の解体費を予算計上します。

■消防・防災

消防の設備整備として、本年は、災害や捜索活動で使用する

簡易なデジタル無線の購入予算を計上しました。

防災関係では、昨年、ハザードマップを各家庭に配布し、また、自治区長・町内会長に参加頂き「災害対策懇談会」を開催し、災害時の協力要請、避難場所の確認などを行いました。今年度は町内関係機関にも声をかけ、より情報共有を図ることを目的に開催します。

地域振興室関係

平成26年10月より旭川市への交通実証運行中の「ほろみん号」の延べ利用者数は本年1月末まで、往路1,149人、復路

で826人合計1,975人であり、車内で実施しているアンケート調査では、有料であっても継続してほしいとのご意見も多数頂いているところで、正式な路線としての運行を目指しておりますが、未だ開催できない地域公共交通会議の開催に向けた協議を続けていきます。

■移住対策

沼牛賃貸住宅1棟1戸に空きができたため、これをお試し住宅とすることとします。移住希望者への情報提供だけでなく、実際に本町での生活を体験して頂くことを目的としています。このお話し住宅の利用にあたっては、住宅の改修と備品等の設

置が必要であり、かかる経費を予算計上したところです。

■JR深名線跡地処分

JR深名線跡地の処分では、平成27年度調査設計が完了し、本年は用地測量を実施、表示、移転登記を実施します。なお、用地測量は、収穫後の測量作業となるが多く、年間十数キロ程度の進捗と見込んでいます。測量が終了したことから順次、整理を行っていく予定です。

■そば振興

そばの里大使及びアドバイザーは、平成26年度末を持って任期切れとなりました。このため再度人選を行い、大使には北

住民課関係

■交通安全対策

昨年、町内において4月、5月と連続して2件の交通事故死亡事故が発生し、町民お二人が犠牲になりました。このような痛ましい事故が再び起きないように、交通安全協会や交通安全指導員と連携を図り、交通事故の

海道出身のミュージシャン上杉周太氏に、アドバイザーには全麵協理事長の中谷信一氏に依頼したいと考えており、お二人にはそれぞれ本町のPRと、本町そば振興への助言、支援をいただくことしたいと思います。



撲滅に向けて、交通安全運動を展開するとともに、町民総ぐるみで交通安全を誓い、交通事故防止に努めていきます。

また、交通安全啓発活動などに使用しています交通安全車を本年度、更新することとし、所要額を予算計上しています。



■町有住宅及び町営住宅

かねてより地域から要望のありました沼牛賃貸住宅内道路側溝改修工事を実施するほか、公営住宅の屋根塗装工事を計画的に実施することとし、所要の経費を予算計上しています。

■環境衛生

平成26年度に一般廃棄物最終処分場の残余容量が残り6〜8年分と予測されたことから、昨年度、一般廃棄物処理基本計画及び処理施設基本構想を策定し、平成32年供用開始に向け準備を進めているところですが、本年度は、更に、国の交付金制度を活用するために必要となる「循環型社会形成推進地域計画」を策定し、施設整備に係わる財源確保の準備を進めます。

■国民健康保険

昨年12月24日に閣議決定された「平成28年度税制改正の大綱」にて、国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額を現行52万円から54万円に、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を現行17万円から19万円にそれぞれ引き上げるとともに、国民健康保険税の軽減措置は、5割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準を改正することとしており、現在、国会で審議中となっています。改正案が可決された後、税条例の改正案を提案する予定です。

また、「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康

保険法等の一部を改正する法律」が平成27年5月27日に成立しました。

この法律の成立により、国民健康保険は、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業確保等の国保運営に中心的な役割を担うことで、制度の安定化を目指します。詳細は、今後、政省令等の改正により明らかになりますが、町では、国保の保険者として、改正の動向を注視し適切に対応します。

■後期高齢者医療保険

北海道後期高齢者医療広域連合では、高齢者の医療の確保に関する法律施行令の改正を受け、平成28年度及び平成29年度における後期高齢者保険料率を均等割額では現行51,472円を49,809円に、所得割率では現行10・52%を10・51%に、被保険者均等割額を減額する基準のうち、5割軽減は被保険者数に乗する金額が現行26万円を26・5万円に、2割減額は、被保険者数に乗する金額が現行47万円を48万円に改正、このほか被用者保険の被扶養者であった被保険者に対する保険料軽減

措置及び所得の少ない被保険者に対する保険料軽減措置を継続することで、去る2月18日開催の北海道後期高齢者医療広域連合議会定例会において可決されたところです。これにより、保険料の若干の増減が生ずることになると考えています。

保健福祉課関係



安心して子育てのできる環境づくりの推進として、昨年10月から実施した保育料の無償化を維持するとともに、小さなまちだからこそできる、きめの細かい

い施策を更に進めたい所存です。

■病院再編

10年越しの議論を重ねてきた国保病院の再編は、平成28年度が仕上げの年度となります。従来の病床部分の機能は、4月より地域密着型介護老人施設、いわゆる地域密着型特養として供用開始となり、特養施設運営の実績がある、旭川市の社会福祉法人寿光会が運営主体となります。

施設規模は、完全個室ユニットで整備され、地域密着型で3ユニット29室、併設短期入所事



業で1ユニット4室と合わせ33室の居室、また、町民と交流を図る地域交流ホールなどを完備しています。施設名称は、地域

密着型特別養護老人ホーム「テルケア」と称し、本町公共施設「アルク」や「ルオント」と同様、フィンランド語を語源とした名称で、「テルケア」は日本語に訳すと「大切」と言う意味で、法人理念として、町民や施設を利用される方、全てにおいて「大切」にしていきたいという想いが込められているとのことです。

現在、病院の介護療養に入所されている方が、引き続きこの「テルケア」に入所されますが、多床室からユニット型になり大

幅に居住環境が改善されますが、これに伴い入居者負担も増えるため、上昇分の緩和措置を講じます。

また、外来部分の機能を引き継ぐ診療所は、アルク、あえるを繋ぐ渡り廊下部分にアクセスさせ、一部二階建ての明るく開放的で、医療機関としての機能はもちろん、防災備蓄庫、会議室などを備えた地域コミュニティも図れる診療所として、7月開所予定としており、保健・医療・福祉サービスを提供する各施設が集約され、より緊密な連絡体制を目指し、北部地域を含めた医療サービスを維持しながら、地域包括ケア体制の一翼を担う重要なエリアとして位置

付けていきます。

救急体制は、診療所診療時間外は消防救急隊員による近隣市町の医療機関への直接搬送とな



ることから、高次医療まで必要のない症状の町民の皆様に対応すべく、幌加内町健康ダイヤル24として、24時間、365日電話による専門スタッフが対応する医療、健康相談が可能なシステムを導入する他、救急当番医の案内ダイヤルの周知、移動手段がない場合の足の確保など、病院から特養施設、診療所となる上で町民の皆様の不安感を払拭すべく施策を講じます。

人間ドックは、平成28年度より町内では実施しないことから、旭川市の北海道対がん協会が実施する人間ドックへのバス送迎を含めた検診を年間3回実施、近隣市町で人間ドックを実施している医療機関との提携を

結ぶなど、検診受入れや送迎を含め従来の人間ドック事業を補完する施策を考慮します。

再編に関わる、特養施設運営にあたる社会福祉法人寿光会への補助金、診療所は、平成28年度分の建設予算、医療備品及び事務備品などの予算を計上しました。

公共施設の修繕計画により朱鞠内老人福祉寮屋根塗装工事や消防法改正により、必要となる老人福祉施設及びスマイルホーム園の消防設備工事を実施するため、所要の予算を計上しました。



産業 課 関 係

平成27年、国において法制化されました、日本型直接支払制度の中山間地域等直接支払補助金は、本町は第4期対策から町全体で1組織にて取り組みを行うこととして今年度も引き続き行っていきます。

また、環境保全型農業直接支払補助金、多面的機能支払補助金についても継続することで予算を計上します。

■土地改良事業

土地改良事業は、道管幌加内北地区中山間地域総合整備事業が最終事業年を迎えますとともに、道管幌加内中部地区経営体育成基盤整備事業、同じく東部地区経営体育成基盤整備事業並びに道管幌加内西部地区畑地帯総合整備事業に取り組み、幌加内町農業の基盤安定を図っていきます。

■農業振興奨励補助金・農業振興地域整備計画

町単独事業の農業振興奨励補助金は、昨年作成しました第5次農業振興計画に沿って、事業

の必要性、継続性、効果を吟味しつつ積極的な運用を進めていきます。具体的な内容は、国のPPP対策の動きも見ながら事業を進めて行く中で、関係団体等と更に詰めていきますが、予算は、前年当初予算と同額で計上しました。

3年の継続事業に変更していましたが今年度で最終年度となっておりますので、残りの事業予算を計上させていただきます。

■地力維持増進事業・農業担い手対策

地力維持増進事業では、新しい農業振興計画に合わせ、今後とも土づくりに力を入れて行くというところで、本町主体のバーク堆肥の製造は継続しますが、有畜農家の減少やバーク原料の確保に支障が出てきており、今後の運営において一考の時期を迎え、関係機関と協議を進め今後の対策を図っていきます。

農業者担い手対策費は、農業後継者交流会補助金を引き続き計上しました。後継者が安定した農業経営を行うにはやはり、家族の支えが必要不可欠であり、後継者の配偶者の確保対策

を図りたいと思います。

■林業・水産商工観光関係

林業関係であります。町有林は、28年度保険更新対象面積の増加により保険料が増額となっております。また、民有林は、引き続き未来につなぐ森づくり推進事業（1戸植栽3・27ha）を実施し森林の育成を図っていきます。

水産では、朱鞠内湖の遊漁事業の振興を図るため、孵化放流事業に対して、引き続き支援していきます。

商工関係では、商工業振興奨



励補助金を現在予定されている事業に計上しました。今後、新たに事業が出た場合は、予算補正にて対応したいと考えています。

その他、観光関係所管施設の修繕等は、要望があります。朱鞠内湖湖畔広場の整備等、春の融雪を待ってから6月補正にて予算の計上を予定しています。

建設 課 関 係

建設事業を取り巻く環境は厳しく、国の公共投資は2年続け

ての前年割れが見込まれる中、資材の高騰、人材の不足といった問題が依然として解消されません。また、国土交通省では平成25年から4度にわたる大幅な労務単価の引上げが実施され、事業費の増加要因となっております。

町単独事業は、下幌加内線側溝改修工事及び、東栄基線道路改良工事、西二線道路改修工事、母子里地区基礎集落圏庫建築工事を実施します。

■河川・橋梁・町道関係

河川は、弥運内川河川整備工事、元川河川整備工事及び、災害復旧では早雲内川河岸災害復旧工事を実施します。

補助事業は、橋梁長寿命化計画に基づき、3橋の橋梁補修工事、5橋の橋梁補修設計業務委託、31橋の橋梁点検業務委託を実施します。これら橋梁点検は義務化され、5年間で全橋梁の点検を実施し、必要に応じて橋梁補修工事を実施するものです。

また町道・河川の維持管理業務は、各自治区の要望を踏まえ、自治区と十分協議しながら実施します。

■住宅関係

次に住宅関係ですが、住環境の向上と定住の促進を図ることを目的に、平成7年に制定した「幌加内町持ち家建設促進条例」が、平成27年度末を持って効力を失うこととなります。

しかし、人口減少に歯止めをかけるには、この条例は必要であり、奨励金の補助限度額の引き上げ、交付金に加算額を追加するなど拡充を図り、平成32年度まで5年間延長することとし、かかる予算と改正条例を今定例会に提案しました。

■簡易水道事業関係

国では、簡易水道事業における経営の効率化、健全化を図る観点から、簡易水道事業の整理、統合を促しているところであり、本町においても幌加内簡易水道・湖南簡易水道・政和専用水道に加え、長留内雑用水施設を組み込んだ4地域での事業統合を進めるため、水道事業統合認可申請業務委託料を計上しています。今後、浄水処理の改良などの実施、水道料金の徴収の一元化など、効率的な維持管理に努めていきます。

教育関係

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、平成27年4月に施行され、改正法の趣旨の一つである、迅速な危機管理体制の構築と首長との連携の強化を図る場として、昨年、首長が主宰する総合教育会議を設置しました。本年においても教育行政大綱のもと、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策について、協議・調整を図ります。

■学校教育

学校教育であります。新たに策定した「学校教育推進計画」では、児童・生徒の個性を伸ばし、未来を創造する豊かな人間性を育むため、学校と家庭、地域が連携した学校教育を進め、併せて教育環境の整備、充実に努めます。

学校教育の施設整備は、幌加内小・中・高等学校において環境改善のため、トイレの洋式化を図ります。また、高校の寄宿舎も、トイレや居室建具を改修し住環境の整備を行います。

また、先般新聞報道でも取り

上げられました。幌加内高校の生徒募集にあたり、本年より上川北部の4町村が連携して、合同学校説明会を開くなどをし、生徒の確保と地域の発信をします。

その他、子育て支援とも関連しますが、町外に下宿している高校生に対し、保護者の負担を軽減すべく下宿代の助成制度をスタートしたく、所用の額を計上しています。

■社会教育

次に社会教育ですが、少子高齢化による社会活力低下などの課題が生じ、社会生活にさまざま

な影響を及ぼしていますが、文化活動が衰退しないよう、一人ひとりが生涯にわたって学び続けられ、その成果を地域社会に還元できる生涯学習社会の構築を図ることが必要です。「第9次社会教育中期計画」のもと、町民の皆様と協働の中で生涯教育の推進を図り、明るく豊かな町づくりに取り組んでいきたいと思えます。

今後も、生涯学習センター「あえる97」を本町の文化活動、学習の場の拠点として事業展開や運営に取り組んでいきます。

図書室においては、本に触れるきっかけづくりとして、新生児に絵本をプレゼントする、ブックスタート事業を新たに行います。

また、町民の誰もが身近にスポーツに親しむ事ができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、地域のスポーツ環境整備を図り、各種スポーツ団体の活動や大会の支援に努めます。

社会教育施設の整備は、旧政和小学校の消防設備改修、山村広場遊具施設用としての駐車場整備、老朽しておりますスキー場リフト監視小屋の改修を実施します。

むすびに

以上、平成28年度の町政執行方針につきまして、所信の一端と各分野の大綱を述べさせて頂きましたが、先に申し上げましたとおり、本年は、町政執行の指針となります。「第7次総合振興計画」の本格的なスタートの年になります。

地方行政を取り巻く環境は、厳しさを増すばかりではありませんが、「ふるさと 幌加内」は大自然に囲まれた、可能性豊かな町であるものと確信しています。

皆様の英知を結集し、対話重視と調和のとれたまちづくりを目指し、全力で取り組んでいく所存でありますので、町議会並びに町民の皆様、多大なるご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。



平成28年度 幌加内町教育行政執行方針

幌加内町教育長 児玉 博

はじめに

平成28年第1回町議会定例会の開会にあたり、幌加内町教育委員会所管の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

今日、人口減少・超高齢化社会を迎え、グローバル化・情報通信技術の発達など、わが国を取り巻く諸情勢の変化は激しく、産業の空洞化や生産年齢人口の減少などによる深刻な課題を抱えた状況が続いています。

その中であって、北海道の子どもたちは、昨年行われた全国学力状況調査によりまずと、小中学校共に全国平均を下回り、基礎学力に依然として課題があるという実態が浮き彫りとなり



ました。同時に行われた学習状況調査においては、家庭での学習時間が全国平均と比べて短く、テレビを観たりゲームをする時間が全国平均より長いという結果となっています。このように「学力」「体力」「生活習慣」に課題を抱える中で、学校・家庭・地域が一層連携を深め、将来を担う子どもたちに心身ともに「生きる力」を身に付けることが強く求められています。

このような教育情勢の中、本町においては、町民一人ひとりが生涯にわたって学習するとの観点に立ち、学校・家庭・地域・行政が一体となり、緊密な連携と協働のもと、生涯教育の推進のため、教育施策の一層の充実に向けてまいります。

基本方針

学校教育

今後5年間を見通した、新たな「幌加内町学校教育推進計画」を策定したところです。

本計画では、めざす子どもの姿を「ふるさとに誇りをもち、人々と支え合い、たくましく生きる、幌加内の子」とし、「確



かな学力の育成」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」を推進の重点としています。

今後も、本計画をもとに、各学校において具現化が図られるよう、きめ細やかな施策の展開を推進するとともに、地域との積極的な連携を図り、信頼性を高め、開かれた学校づくりの推進に努めます。

町内各学校の状況

本年度の小学校は、幌加内小学校9学級、朱鞠内小学校3学級、合せて12学級となり、児童数は70名の予定となります。なお、幌加内小学校の9学級のう

ち、3学級は特別支援学級（言語・自閉・情緒、知的）です。中学校は4学級（普通学級3、特別支援学級1）で、生徒数は37名の予定です。高等学校は、4年生に1名在籍し4学級となり、生徒数は64名、前年対比10名増で町外からの生徒は63名の予定です。

小・中学校義務教育

新学習指導要領では、「子どもたちが変化の激しい社会を生きるため、生きる力を育成すること。」「知識・技能の習得と思考力・判断力等の育成のバランスを重視すること。」「道徳教育や



体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること。」の三点の基本方針が示されています。

学校教育の充実はもとより、

確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成やふるさとの愛着を育む教育の推進を図るため、家庭・地域・学校の連携は重要な位置付けになることから、その構築と合わせ、その他の教育環境整備に最善を尽くします。

高等学校

全国的な少子化傾向は一段と強まっており、生徒数は減少の一途をたどり、生徒募集は、大変厳しい状況下にあります。

このような中、上川管内編入を契機に、旭川市並びに近隣市町や北空知管内を中心に各中学校校訪問や、旭川方面に大型バス

を借上げ、札幌方面からの参加者も含めた一日体験入学の実施や、個別での学校見学対応などを実施しながら、生徒募集の強化に努めてきました。

その成果として、高校入試志願者数は、平成26年度が30名、27年度27名、28年度においては23名と、本町の特産でもあります「そば」を活用した設置科目のそば授業や、生産から販売までの六次産業化への取り組み、アンテナショップの運営など、特色を活かした学校運営の要因もあり、多くの中学校からご支持を頂いているところでです。

平成28年度からは、前期・後期での単位取得を可能とする二学期制を導入し、高校が掲げる教育目標の実践へとまい進します。

教育委員会といたしまして、将来を担う子どもたちの多

様なニーズを捉え、各関係機関・地域とも連携を図り、生徒に対するカウンセリングアドバイザーやスクールソーシャルワーカーの配置を始め、小規模校ならではのきめ細やかな指導や、農業を通じた人間形成の拠点となっていく学校経営のため、学習指導や生徒指導の分析、ま



た、町外からの生徒を受け入れている溪雪寮での生活におきましても、環境整備を行い、魅力ある幌加内高校の充実に努力をしていきたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

学校給食事業

国は、確かな学力と豊かな心を育てることに加え、食育の推進を図り、心身の健康に重要な食生活の大切さを教育に取り組むこととしています。

現在、栄養教諭を配置して、食育の推進に取り組み、食育教育の充実を図っているところで。更に、食中毒や異物混入を未然に防止するため、共同調理場の衛生管理を徹底し、安全な学校給食の提供に努めるとともに、本年も米飯給食の週4回実

施に向け、町としましても地元産米の採用に努め、給食米の購入に対する助成措置を引き続き実施していきます。

社会教育

社会教育は生涯学習社会の中核として、地域全体に関わる様々な課題を解決するため、第9次社会教育中期計画のもと、事業展開を図っていきます。

町民の方々が学んだことを地域に活かせる学習の推進、地域資源を活かした教室の開催、各種スポーツ活動の支援、生活文化の向上を目指した講座の開設等、社会教育関係団体との連携を深め、町民の皆さんとの協働の中で、生涯教育に取り組んでいきます。

本町の社会教育活動の拠点であります生涯学習センターは、



その機能を充分に活かして事業の推進に努め、町民の皆さんが自主的に行う文化・芸術活動への支援に取り組むとともに、各地区公民館を中心とした地域の特色ある活動にも支援をしていきます。

また、中央教育審議会など様々な場面で体験学習の重要性が示されており、本町の自然を活用した体験学習を学校・地域の方々との協働により取り組みたいと考えています。

さらに図書室においては、本にふれるきっかけづくりの取り組みとして、今年度より、新生児に絵本をプレゼントするブックスタート事業を行います。ま



た、保健福祉部局と連携した乳幼児対象の読み聞かせ事業を復活し、読書活動の普及に努めます。

がり、特に非圧雪斜面の滑走が人気となっておりですが、新たな客層にも着眼し、より多くの集客と経営安定に繋がるよう今後も努めます。

興に努めます。

また、山村広場のテニスコート及び遊具施設は移設が終わり、今シーズンより供用開始となります。今後も社会教育施設の整備や維持、関係団体の活動支援に、より一層の連携を計りながら事業推進に取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

保健体育

次に、保健体育ですが、スポーツと健康の関わりは、心豊かで明るい生活を続けるためにも、自分にあったスポーツを継続することが最も大切なことです。

本町の多雪を活かした冬期間のスポーツとして、ほろたちスキー場があります。スキー人口が全道的に減少しており、経営は厳しい状況です。近年、雪の量や雪質の良さが口コミで広

町民にスキーの楽しさを知っていただくことを目的に、町スキー連盟指導員会の協力により実施しておりますスキー教室の開催、児童・生徒を対象に実施しております土曜日・日曜日のリフト券の助成やシーズン券の助成は好評を得ており、本年度においても引き続き実施します。

今後ともスキー連盟をはじめ、関係機関と連携を図り、町技でありますスキーの普及、振

奨学資金特別会計

本町の奨学資金事業は、経済状況によって就学の機会が奪われないようにするため、本町に住所を有する学生等の育英を目的として、本年度もこれまでと

同様、新規貸付者を大学、各種学校、幌加内高校、その他高校それぞれに予定しています。

むすびに

以上、平成28年度の教育行政の執行について申し上げましたが、町民の皆さんの学習環境の整備や学習機会の提供に向けて、鋭意取り組んでまいりますので、町議会並びに町民の皆様、なお一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。行政執行方針といたします。



平成28年度予算 幌加内町のまちづくり

◆◆◆ 予算総額45億2,316万8千円 ◆◆◆

平成28年度の予算は、病院再編に伴う、診療所建設費や運営費など福祉の充実や各種農地や道路など生活基盤の整備を中心に計上されました。今年度の主な予算の内容や新規事業を町民の皆さんにお知らせします。なお、各課で担当しております補助事業や補助金は今後お知らせする予定です。

◆平成28年度各会計予算統括表

(単位：千円)

会 計 別		平成27年度(当初)	平成28年度	比較増減額	比較増減率
一	一般 会 計	3,190,782	3,792,263	601,481	18.9
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	265,694	280,335	14,641	5.5
	後期高齢者医療特別会計	28,824	27,184	△ 1,640	△ 5.7
	介護保険特別会計	189,341	200,120	10,779	5.7
	簡易水道事業特別会計	63,661	71,293	7,632	12.0
	下水道事業特別会計	72,333	70,456	△ 1,877	△ 2.6
	奨学資金特別会計	6,468	6,108	△ 360	△ 5.6
企業会計	国民健康保険病院事業会計	448,344	75,409	△ 372,935	△ 83.2
合	計	4,265,447	4,523,168	257,721	6.0

一般会計とは

産業・福祉・教育・道路サービスなどをすすめる基本的な行政サービスを行うための会計です。

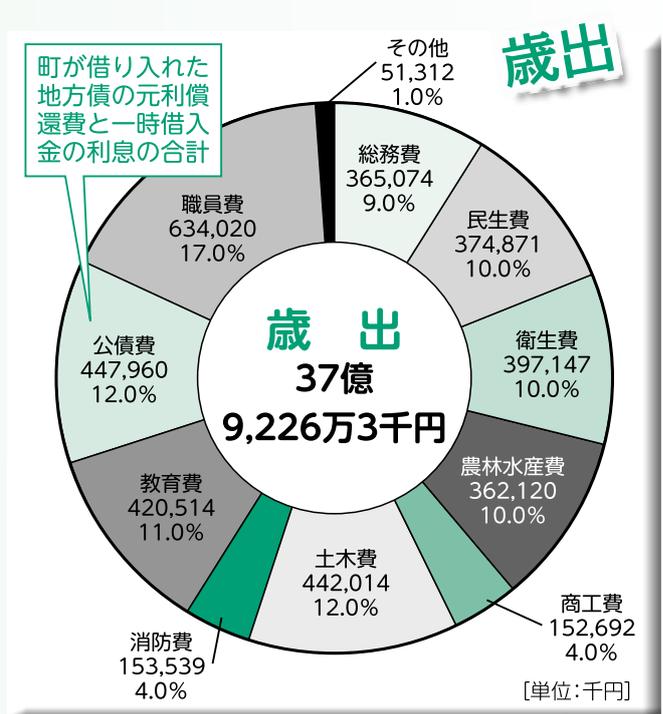
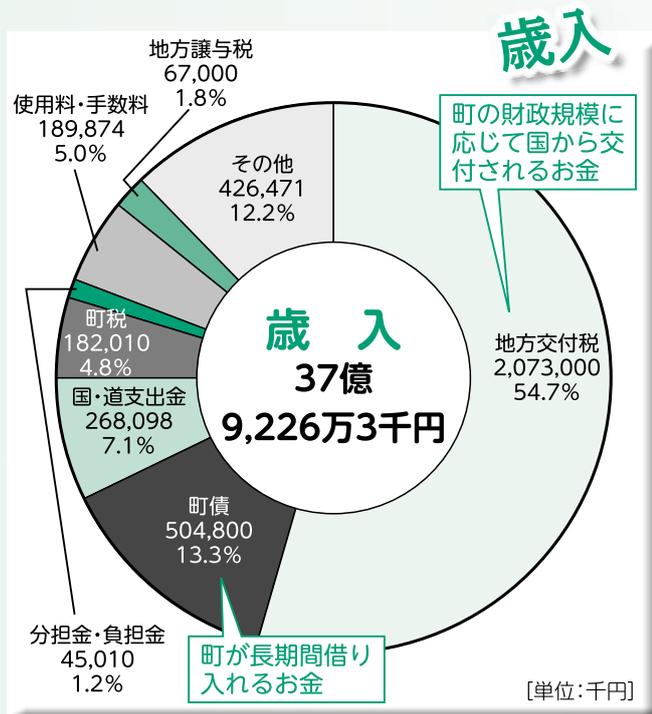
特別会計とは

特定の事業やサービスを提供するために、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計とは区分し、収入・支出する会計で、本町では国民健康保険や介護保険など6つの会計があります。

企業会計とは

町が経営する企業の会計で、本町では病院会計(国民健康保険病院)がそれにあたり、民間企業と同様の経理をする会計のことです。

◆一般会計予算の概要 一般会計総額 37億9,226万3千円



平成28年度一般会計で行われる新規事業を紹介します。

総務費 関係

■ほろみん号試験運行事業 8,631千円

平成26年10月より、旭川市までの無料バスの運行业務（町民対象）。月曜日から金曜日までの毎日2便運行している。予約制のため利用者がいなければ運行は行いません。

■JR跡地地籍測量事業 30,000千円（新規事業）

平成7年廃線の旧深名線跡地測量委託事業。用地確定後に町民等の希望者に売買予定。平成28年度より3年計画にて実施します。

■移住体験住宅改修事業 4,331千円（新規事業）

本町移住希望者を対象とした移住体験住宅の整備するため、町賃貸住宅を改修します。

■旧町立病院解体事業 74,110千円（新規事業）

病院再編に伴い、診療所を新築するため旧病院を解体します。

■民間賃貸住宅建設事業 22,000千円

住宅環境の向上と良質な賃貸住宅の提供を目的に、建設する事業者に助成を行っています。

■沼牛賃貸住宅内道路側溝改修工事 6,567千円（新規事業）

沼牛賃貸住宅（4戸）の施設内道路の側溝改修を行います。



民生費 関係

■朱鞠内延寿荘・スマイルホームえん消火設備設置事業 8,176千円（新規事業）

上記2施設の消火施設の新設、改修を行い、消火体制の強化を図ります。

■朱鞠内延寿荘居室改修事業 8,640千円（新規事業）

延寿荘の居室を改修し、快適性、利便性の向上を図り、入所者及び介助者の負担を軽減します。

■地域密着型特養運営補助事業 9,700千円（新規事業）

4月より民間運営による地域密着型特別養護老人施設の業務開始にあたり、運営補助を行います。

■乳幼児等医療費事業 3,928千円

子育て支援、環境の充実を図るため、中学校3年生までの医療費を全額無料化とします。

■認可外保育所運営事業 4,933千円

町内には、認可保育所1カ所、認可外保育所1カ所の計2カ所の保育環境であるため、認可外保育所への運営費も、保育士の処遇改善を図るため強化・充実を図ります。

■保育料負担軽減事業 8,500千円

現在の保育料の基準は、国の保育料基準の60%（7・8階層は70%）とし、軽減をしているところですが、平成25年より子育て支援の拡充と公平性の観点から、円滑な就学支援を目的に年長5歳児の保育料無料化を実施。平成27年5月からは町民を対象に完全無償化を実施しています。



衛生費 関係

■幌加内診療所建設事業 204,133千円

病院再編に伴い、診療所（無床）を新築します。平成27年補正予算からの継続事業となっています。

■幌加内診療所運営事業 75,412千円（新規事業）

病院再編に伴い、診療所の運営経費（人件費等）を計上しています。

■廃屋撤去促進事業 2,500千円

景観に著しい支障を与えている廃屋を撤去し、美しい景観の形成と生活環境の安全対策を講じるため、撤去費用に対し、50万円を限度とする助成事業を実施します。（補助率2/3）



農林水産費 関係

■農業振興地域整備計画作成事業 3,338千円

昭和48年に作成された農業振興地域整備計画は、修正は加えられていますが、約40年間新規に作成されておらず、内容的に古い情報や現状と異なる情報が掲載されているため、作成するものです。

■道営幌加内北地区中山間地域総合整備事業負担金 41,400千円

■道営幌加内中部地区経営体育成基盤整備事業負担金 33,615千円

■道営幌加内東部地区経営体育成基盤整備事業負担金 21,250千円

■道営幌加内西部地区畑地帯総合整備事業負担金 20,400千円



商工費 関係

■プレミアム付商品券発行補助金 10,000千円

町内消費の振興策として、商工会が発行するプレミアム付商品券事業に対し補助を実施します。

1万円で額面1万円以上の町内のみで使用可能な商品券を販売します。

販売時期は、夏と冬の2回とし、使用期間は3ヶ月間となっています。



土木費 関係

■母子里地区基礎集落圏車庫建設事業 31,915千円 (新規事業)

除雪用ドーザー用車庫 (90.72㎡) 及び取り付け道路を設置します。

■橋梁補修・点検事業 48,500千円 (新規事業)

町道にかかる橋梁が対象で、全体で92橋。平成28年度から4ヵ年で実施する予定で、そのうち平成28年度では設計や点検、補修工事併せて39橋で実施します。

■下幌加内線側溝改修事業 6,977千円

■東栄基線道路改良事業 31,623千円 (新規事業)

■弥運内川河川整備事業 8,046千円 (新規事業)

■元川河川整備事業 11,222千円 (新規事業)

■持ち家建設促進奨励事業 8,500千円

今までの交付金額の増額を行い、北方型住宅は150万円から250万円。一般住宅は100万円から200万円に増額します。



教育費 関係

■幌加内小学校トイレ改修事業 14,969千円 (新規事業)

■幌加内中学校トイレ改修事業 20,240千円 (新規事業)

■幌加内高等学校トイレ改修事業 10,724千円 (新規事業)

各学校のトイレを和式から洋式に変更し、学習環境の向上を図ります。

■幌加内高等学校寄宿舎改修事業 40,500千円 (新規事業)

平成元年に建築されて、築27年が経過し、建物の劣化が進んだため、居室や浴場などの改修を実施します。



平成27年度
卒業証書授与式&卒園式



3月に行われました小中学校と保育園の卒園式の様子をご紹介します。



みゆき保育園卒園式



3月22日(火) 卒園児1名



幌加内高等学校卒業証書授与式
3月1日(火) 卒業生13名



幌加内中学校卒業証書授与式



3月12日(土) 卒業生22名



幌加内小学校卒業証書授与式
3月19日(土) 卒業生8名

雪の御殿へ雪入作業



双葉保育園卒園式
3月26日(土) 卒園児5名





優勝を目指しての 熱い戦い

- 第8回ほろたちジュニアアルペン競技大会
- ONEWAY CUP 第18回ほろたち
ジャイアントスラローム競技大会

2月14日(日)に第8回ほろたちジュニアアルペン競技大会、4月3日(日)にはONEWAY CUP 第18回ほろたちジャイアントスラローム競技大会がほろたちスキー場で開催されました。4月3日の大会では、あいにくの雨模様でしたが、参加した選手は、日頃の練習の成果を競い合いました。なお、大会の結果は下記の通りとなります。(町内関係分入賞者)

【第8回ほろたちジュニアアルペン競技大会結果】

◇小学1・2年女子組	2位	北村 柚乃
◇小学5年女子組	1位	竹谷 紗里依
	2位	楠木 貴子
◇小学5年男子組	1位	坂本 龍志郎
◇中学女子組	2位	別部 優果
◇中学男子組	1位	坂本 勇大
	2位	別部 龍星

【ONEWAY CUP 第18回ほろたち

ジャイアントスラローム競技大会結果】

◇小学1・2年女子組	3位	北村 柚乃
◇小学5・6年女子組	1位	竹谷 紗里依
	2位	楠木 貴子
◇小学5・6年男子組	2位	坂本 龍志郎
◇女子組(中学生以上)	2位	鈴木 りな
◇男子A組(中学～26歳)	2位	坂本 勇大
◇男子B組(27歳～34歳)	1位	大平 直人
	2位	番水 淳哉

人権擁護委員に 委嘱されました



人権擁護委員は、常に自由人権思想の普及高揚に努めることをその使命とする委員で、町長の推薦により法務大臣より委嘱されます。

本町では、4月より水上尚澄さん(字沼牛)に代わり、竹村見吾さん(字幌加内)が新たに人権擁護委員に委嘱されました。



消防記念日にちなみ 幌加内消防団研修を実施

3月7日(月)が消防記念日であることにちなみ、3月5日(土)消防庁舎において消防団危険予知訓練(S-KYT)研修が行われました。

この日は消防団員等公務災害補償共済基金の後援を受け、同基金から派遣された講師による指導のもと、団員29名が研修を受け、元気良く指差し呼称で「S-KYT」を学びました。研修を主催した高山団長は、「研修で公務災害が大幅に減少した地域もあると聞いた。今後も定期的実施して公務災害ゼロで消防団活動に当たって欲しい。」と話していました。



母子里と出会う旅 2016 冬



3月13日(日)、「母子里と出会う旅 2016 冬」が母子里と出会う旅実行委員会の主催により、雨竜研究林などを会場に行われました。

3月を迎えても寒さが厳しい母子里地区において、冬の1日をいろいろな催しを通じて楽しんでもらうことを目的に昨年から行われています。

当日は晴天の中、参加者約60名が雨竜研究林に入り森林の保全活動となる除伐(きこり体験)やスノーモービルの試乗、チューブすべりなどを体験しました。





生活管理指導短期宿泊事業がスタートします

本町では、4月1日より、介護認定を受けられていないおむね65歳以上の虚弱高齢者を対象に短期間の宿泊事業を町内の指定施設（介護施設）に委託し実施します。

指定施設

- 地域密着型特別養護老人ホーム テルケア
- 幌加内町字幌加内 ☎36-2336
- 小規模多機能型居宅介護事業所 スマイルホーム えん
- 幌加内町字朱鞠内 ☎38-2323

対象者

介護認定を受けられていないおむね65歳以上の高齢者
居宅での生活が一時的に困難になった方が対象で、医療行為が必要でない方。

具体的には：

- ・体調不良等により、見守りが必要と判断された方
- ・家族等の冠婚葬祭などで、同居者が留守になり1人での生活に不安な方

利用期間

原則7日以内の利用期間となります。

利用料金

1日3,000円（食事、宿泊、介護サービス費込み）

利用の相談・申請先

幌加内町地域包括支援センター ☎0165-135-3090

国家公務員採用試験のお知らせ

お知らせ

- 一般職試験（大卒程度）
インターネット申込期間：4月8～20日
- 一般職試験（高卒者・社会人）
インターネット申込期間：6月20～29日

☆申込専用アドレス <http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>
☆問い合わせ先 人事院北海道事務局第二課試験係 ☎011-241-2480

東京幌加内会第31回総会・懇親会開催のお知らせ

東京幌加内会では以下の日程で「東京幌加内会第31回総会・懇親会」を開催します。当会は昨年、創立30周年の節目を終え、本年の「東京幌加内会・懇親会」は気持ちを新たに31回目となります。これを機に、高齢化による会員減の中、熱きふ

るさと思いの会員とそれをサポートする幹事・役員が丸となり会を盛り上げていきます。

【日時】 平成28年5月21日（土）午前11時30分～午後3時

【会場】 アルカディアア市ヶ谷 東京都千代田区九段北4丁目2番25号

☎03-3261-9921
【連絡・お問い合わせ】
東京幌加内会 阿部 功一 ☎048-832-1872

厚生労働省からのお知らせです 6月は「外国人労働者問題啓発月間」です！

外国人は「ルールを守って」適正に雇用しましょう。

- ①雇い入れる前に、就労が認められるか在留資格を確認してください
- ②外国人の雇い入れと離職は、必ずハローワークに届け出てください
- ③社会保険等の加入をはじめ、適正な雇用管理を行ってください

お問い合わせはお近くのハローワーク又は労働基準監督署まで。

老人クラブ会員募集

町内の各老人クラブでは、会員の募集を行っています。

入会資格は、町内に在住の方で概ね60歳以上の方が対象です。

老人クラブでは、毎月1回行う例会時に保健師による健康相談等を実施しているほか、カラオケやダンス・麻雀等の趣味活動、また国道沿いの花壇への花植えや清掃などの地域福祉活動も行っております。

入会ご希望の方や、詳しいことをお知りになりたい方は、各地区老人クラブ会長までお問い合わせください。

皆様のご入会をお待ちしております。

・幌加内老人クラブ 会長 阿部 辰蔵 ☎35-2424

・政和老人クラブ 会長 笠井 政彦 ☎37-2347

・添牛内老人クラブ 会長 関口 誠 ☎37-2250

・朱鞠内老人クラブ 会長 山下 俊明 ☎38-2051

・母子里老人クラブ 会長 日野 昭 ☎38-2431

士別警察署かわら版

春の地域安全運動

～みんなで築こう、安全で安心な大地～

北海道警察では、5月11日（水）から20日（金）までの10日間、「春の地域安全運動」を実施します。

- オレオレ詐欺、還付金詐欺、架空請求詐欺など特殊詐欺に注意して下さい。
- これら特殊詐欺の被害防止のため、お金の要求や儲け話は安易に信じることなく、怪しいと感じたらすぐに警察署、最寄りの交番・駐在所又は警察相談電話#9100に相談しましょう。



士別警察署 (代)23-0110

幌加内町人事

(平成28年4月1日付)

地域振興室長兼企画調整係長事務取扱

山本 久稔

(産業課長補佐)

産業課付け課長補佐(幌加内土地改良区派遣)

石黒 政士

(建設課課長補佐兼技術長)

住民課主幹兼国民健康保険医療係長兼後期高齢者医療係長事務取扱

岩本 美佐江

(教育委員会学務課長)

兼地域振興係長事務取扱

野口 卓也

(地域振興室主幹兼さば振興係長事務取扱)

産業課主幹兼商工観光係長兼林務係長兼水産係長事務取扱

新江 和夫

(総務課庶務係長)

兼地域振興室旧J・R深名線跡地担当主査事務取扱

柏原 潤

(産業課地籍係長)

建設課主幹兼技術長兼水道係長兼水道係長事務取扱

高田 英樹

(建設課水道係長兼下水道係長)

兼広報統計係長事務取扱

三浦 依理子

(総務課職員厚生係長)

総務課管財係長兼財政係

加藤 洋恵

(地域振興室企画調整係長兼地域振興係長)

総務課庶務係長兼防災係長

安藝 修

(保健福祉課介護保険係長)

建設課管理係長兼水道係

塚田 裕紀

(教育委員会社会教育課社会教育係長)

総務課財政係長

菊地 宏

(総務課管財係長)

保健福祉課介護保険係長兼国民健康

保険病院再編介護施設担当主査

相澤 雅彦

(産業課農業振興係長)

産業課農業振興係長

高木 敏光

(総務課広報統計係長兼防災係長)

保健福祉課すこやか保健係長

宮内 智子

(保健福祉課すこやか保健係主査)

総務課庶務係主査

堺 秀樹

(国民健康保険病院庶務係主査)

保健福祉課理学療法士兼あんしん介護係主査

小本 剛

(国民健康保険病院理学療法士)

産業課商工観光係主査兼林務係主査

兼水産係主査 渡邊 義夫

(朱鞠内支所)

建設課除雪センター管理係兼車両係

佐藤 淳

(国民健康保険病院)

兼地域振興室J・R深名線跡地担当係

北村 卓也

(産業課地籍係)

保健福祉課しあわせ福祉係兼すこやか

保健福祉課しあわせ福祉係兼すこやか

荒 洗佑

(保健福祉課介護保険係兼あんしん介護係)

出納係 本間 絢

(保健福祉課すこやか保健係)

総務課広報統計係兼防災係兼情報管

理係兼税務係 猪谷 祐介

(議会事務局)

朱鞠内支所 岡久 貢太

(総務課税務係)

○幌加内町教育委員会人事

学務課長兼学務課総務係長兼学校教

育係長事務取扱

内山 渉

(住民課主幹兼国民健康保険医療係長兼後期

高齢者医療係長事務取扱)

社会教育課社会教育係長兼生涯学習

センター管理係長兼事業係長

野村 道宏

(産業課商工観光係長兼林務係長兼水産係長)

社会教育課社会教育係

堺 秀樹

(国民健康保険病院庶務係主査)

学務課車両係 岡久 貢太

(総務課税務係)

○幌加内町農業委員会人事

農業委員会事務局次長兼農地係長事

務取扱 柏原 潤

(農業委員会農地係長)

○幌加内町議会人事

議会事務局庶務係長兼議事係長

岡田 由美

(出納係長)

○幌加内町選挙管理委員会人事

書記 安藝 修

(保健福祉課介護保険係長)

書記 猪谷 祐介

(議会事務局)

○新規採用

総務課税務係 村上 隼哉

教育委員会学務課学校教育係兼総務

係兼社会教育課社会教育係

川内谷 晋吾

総務課庶務係兼防災係兼職員厚生係

兼情報管理係

西成 亜姫奈

○退職職員

(平成28年3月31日付)

国民健康保険病院 X線技師

永森 浩司

国民健康保険病院 栄養士

岩井 淑恵

国民健康保険病院 介護福祉士

長野 英恵

国民健康保険病院 看護師

本家 春佳

国民健康保険病院 看護師

白土 優子

国民健康保険病院 准看護師

本間 里美

国民健康保険病院 准看護師

坂本 裕貴

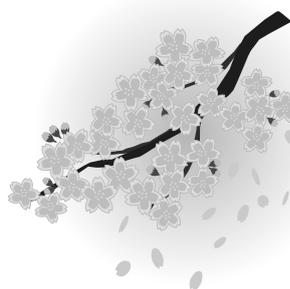
総務課財政係長

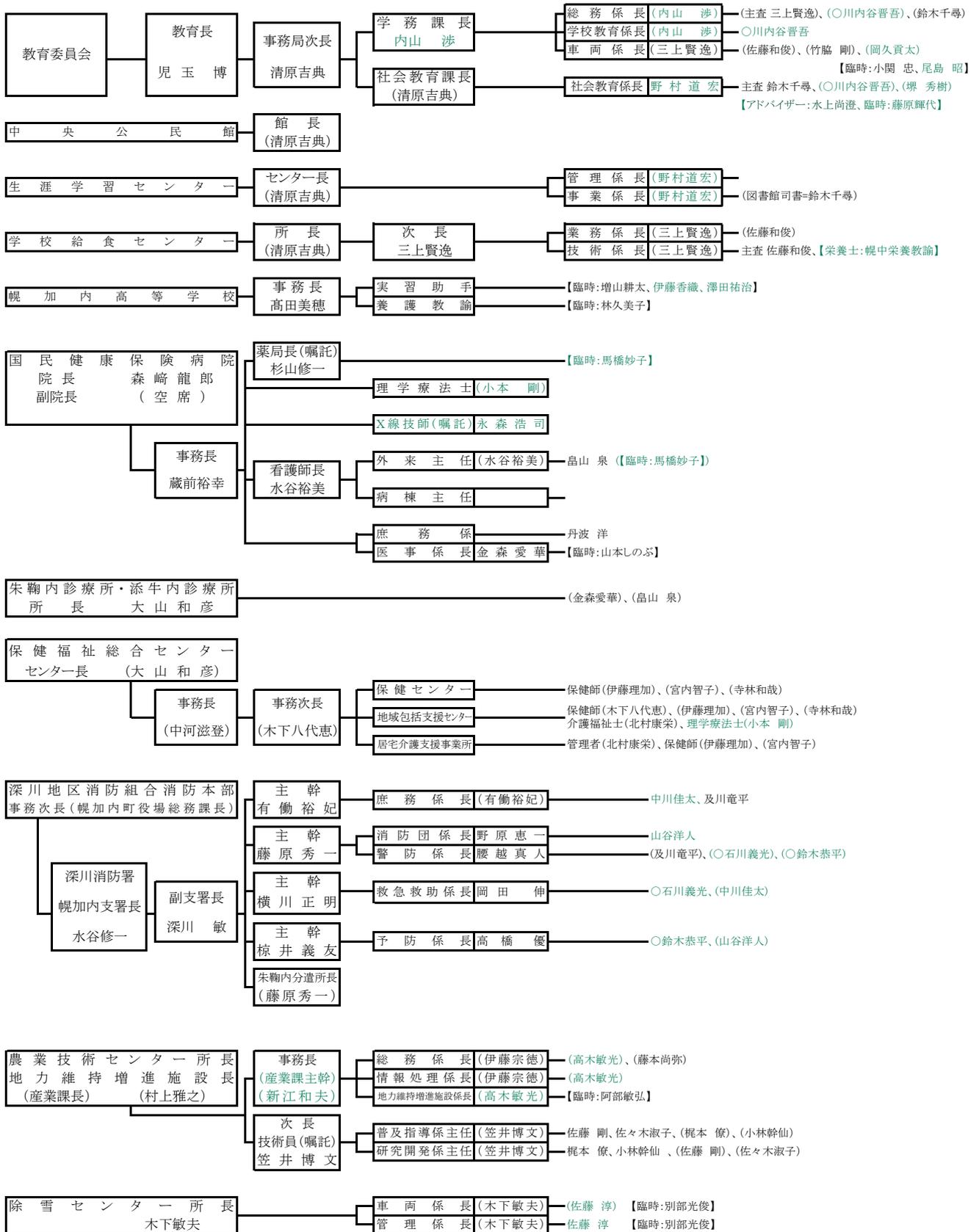
北村 貴智

教育委員会学務課学校教育係兼社会

教育課社会教育係

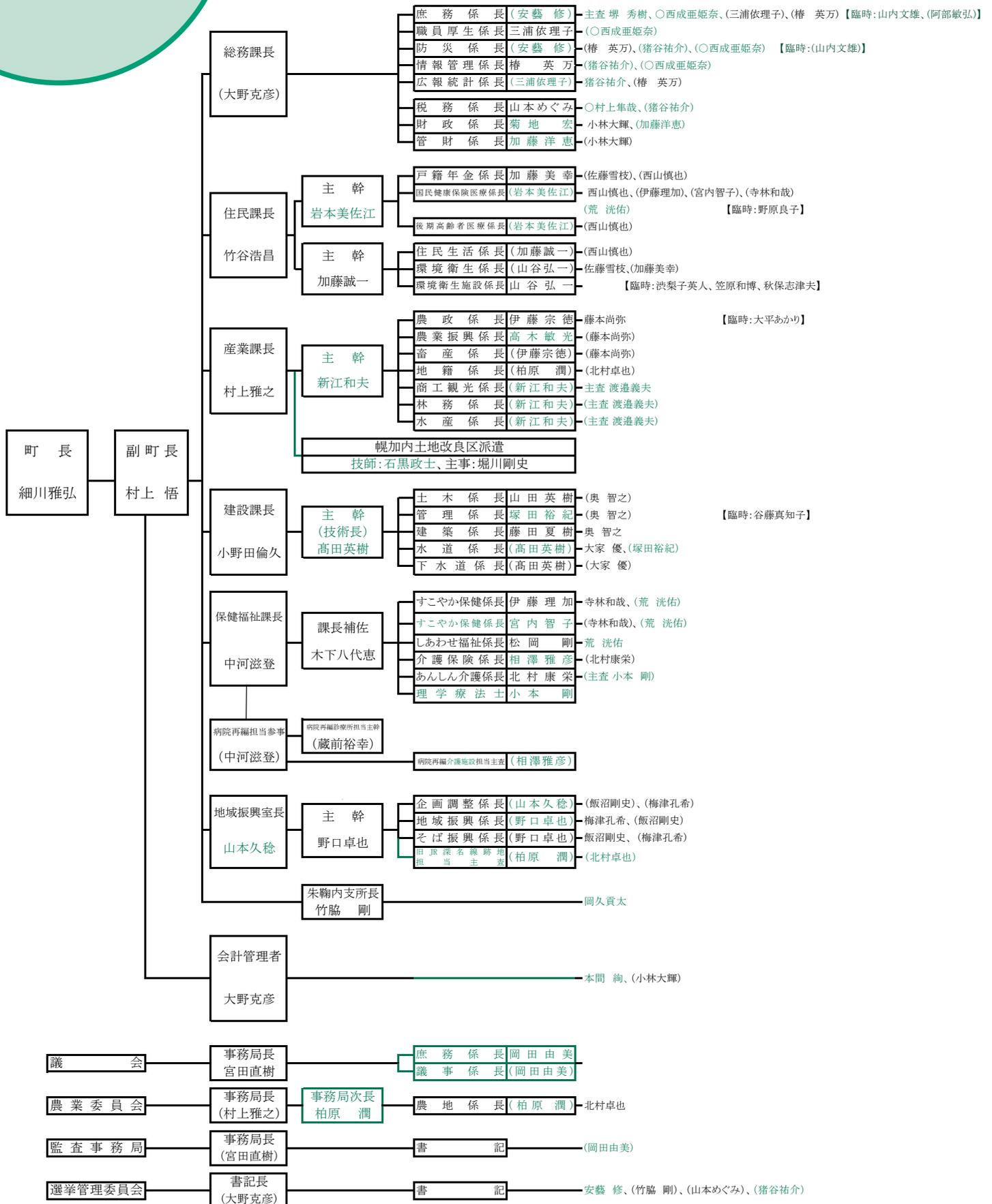
長谷川 広恵





平成28年4月1日現在 緑色は異動者(昇任含む)・○は新規採用者・()は兼務

幌加内町役場 機構図



「高齢者肺炎球菌感染症の予防接種のお知らせ」

肺炎球菌による肺炎は、成人肺炎の25～40%を占め、特に高齢者での重篤化が問題になっています。肺炎球菌は肺炎、中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎、髄膜炎などを起こす細菌の一つです。特に、高齢者の肺炎の約半数は、肺炎球菌が原因とされています。

高齢者肺炎球菌ワクチンは、約90種類に分類される肺炎球菌のうち病気を引き起こしやすい23種類の菌の成分を含んでいるため、肺炎の罹患や重症化に対する予防効果が期待されます。

高齢者肺炎球菌の予防接種を実施しています。

平成26年10月より、高齢者肺炎球菌予防接種が定期接種となり無料で接種できます。過去に接種した方は対象となりません。

平成28年度定期予防接種の対象者

①平成28年度（平成29年3月31日まで）に以下の表の年齢に該当する方

65歳となる方	昭和26年4月2日～ 昭和27年4月1日	70歳となる方	昭和21年4月2日～ 昭和22年4月1日
75歳となる方	昭和16年4月2日～ 昭和17年4月1日	80歳となる方	昭和11年4月2日～ 昭和12年4月1日
85歳となる方	昭和6年4月2日～ 昭和7年4月1日	90歳となる方	大正15年4月2日～ 昭和2年4月1日
95歳となる方	大正10年4月2日～ 大正11年4月1日	100歳となる方	大正5年4月2日～ 大正6年4月1日

平成30年度までは、経過措置として5歳刻みの方がその年度の対象者となります。

②60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方です。

高齢者肺炎球菌予防接種は任意予防接種でも接種可能です

幌加内町では定期予防接種の対象とならない方についても、任意予防接種で接種することができます。

接種料金	無 料
対 象 者	70歳以上（過去に接種したことのある人は、通常5年以上の間隔をあける必要があります。医師と相談してから、接種してください。）

予防接種は幌加内町立病院、各診療所で受けることができます。

町立病院（電話：35-2321）に事前に予約をしてから受けられますようよろしくお願いいたします。

予防接種に関するお問い合わせ：保健福祉総合センター「アルク」

すこやか保健係 保健師 電話 35-3090

国民年金のしくみ



◎国民年金制度とは

国民年金制度では、すべての人が共通の基礎年金を受けます。厚生年金や共済組合に加入した人は、基礎年金を国民年金から、給料に比例した上乘せの年金をそれぞれの年金制度から受けられるようになっています。いわゆる二階建ての年金制度です。

国民年金の3つの柱

- ① 年をとったら（65歳）……………老齢基礎年金
- ② 病気や事故などで障害になったら……………障害基礎年金
- ③ 夫が亡くなったとき子のいる妻、または子に……………遺族年金

◎国民年金には日本国内に住むすべての方が加入します

国民年金に加入しなければならない人は、日本国内に住所のある20歳以上60歳未満の人です。職業や収入を問わず加入します。

加入者は3つのグループに分かれます。

第1号被保険者

農林漁業者、自営業者、無職、自由業者、学生等（20歳以上60歳未満）

- ・加入の手続き お住まいの市区町村に届け出ます。
- ・保険料 国（社会保険庁）から送付される納付書により保険料を納めます。

第2号被保険者

厚生年金や共済組合の加入者（65歳未満）

※厚生年金の被保険者期間は70歳未満ですが、老齢厚生年金などの受給権を持っている65歳以上の人は国民年金第2号被保険者とはなりません。その人は扶養されている配偶者も第3号ではなく、第1号被保険者となります。

- ・加入の手続き 勤務先が社会保険事務所に届け出ます。
- ・保険料 厚生年金などの保険料を納めるので、それとは別に国民年金を納める必要はありません。（厚生年金や共済組合に加入すると、自動的に国民年金にも加入したことになります。）

第3号被保険者

厚生年金や共済組合の加入者に扶養されている配偶者

- ・加入の手続き 配偶者の勤務先が社会保険事務所に届け出ます。
- ・保険料 納める必要はありませんが、配偶者の勤務先へ第3号被保険者であることを申し出る必要があります。

●詳しくは、お近くの年金事務所または役場住民課年金係(35-2124)へお問い合わせください。●

幌加内町は旭川年金事務所の管轄区域です。

住所：〒070-8505 旭川市宮下通り2-1954-2 電話：0166-25-5589

がん検診のすすめ

日本人の死因の一位はがんですが、医療の発達とともにがんは助かる病気となりつつあります。しかし、検診を受けないため、がんが進行してしまってから発見され、手遅れとなる場合も少なくありません。そのため、検診を受けて早期発見、早期治療につなげることはとても大切です。



がんに関する動向

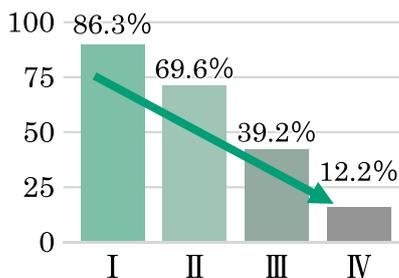
●死亡者数の多い部位(2014年)

	1位	2位	3位	4位	5位
男	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女	大腸	肺	胃	膵臓	乳房

*全体でみると男性は約21万人(男性の4人に1人)、女性は約15万人(女性の6人に1人)の方ががんで亡くなっています。

早期発見の重要性

全がんステージ別10年生存率



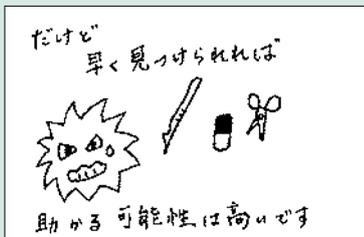
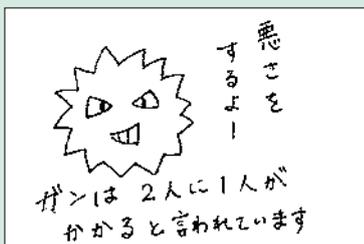
早期で治療をすれば助かる確率は高いです。早期の段階で発見するためにも検診を定期的を受けて、異常の有無を知ることが大切です。

参照：がんの統計 '15
公益財団法人がん研究振興財団

健康ましが

第197回

「定期検診を大切に」



健康づくり推進員が調査を行います

4月に各地区の健康づくり推進員が、検診の希望調査を行いますので、希望がありましたら申し込みください。

日にち	種類	日にち	種類
6/16(木)	乳がん・子宮がん	7/28(木)	結核・肺がん
		7/29(金)	
8/8(月)	胃がん・大腸がん	9/13(火)	送迎バス健診 (一般健診、複数の がん検診)
8/9(火)		10/19(水)	
2/3(金)		11/7(月)	

*送迎バス健診は、平成28年度より新たに実施する健診です。アルクからバスに乗って旭川がん検診センターに向かいます。同日に複数の健診が受診可能です。

*がん検診の対象者は、基本40歳以上です(子宮がんは20歳以上です。他の検診について希望される場合40歳未満でも受診可能です)。

*検診の詳細については、アルク保健師(電話35-3090)までお問い合わせください。

5月の健康/カレンダー

●乳幼児・児童に関する行事

乳幼児健康診査	18日(水)	保健福祉総合センター	受付 12:30~
子育て教室	19日(木)	農業活性化センター	10:00~11:30
乳幼児予防接種	10日(火)	町立病院	15:00~16:30
	17日(火)		
	24日(火)		
	31日(火)		

●成人・老人に関する行事

老人健康相談	10日(火)	幌加内老人クラブ	10:00~11:00
	11日(水)	母子里老人クラブ	10:00~11:00
	12日(木)	添牛内老人クラブ	10:00~11:00
	13日(金)	政和老人クラブ	10:00~11:00
	25日(水)	朱鞠内老人クラブ	10:00~11:00



○母子健康手帳および妊婦一般健康診査受診票の交付は、アルクで行っております。妊娠がわかりましたら、早めに交付を受けてください。また、来所の前にアルクへご連絡いただくと交付がスムーズです。

○肝炎ウイルス検診を実施しています。対象者は、40歳以上の方で過去に検診を受けられたことのない方です。検査を希望される方は、事前にアルク保健師までご連絡ください。

学校開放

今年度も下記のとおり、学校開放をいたします。

町内の学校体育施設を広く住民に開放し、スポーツ・レクリエーション活動の推進と明るく豊かな地域づくりの推進を図ることを目的としていますので、多くの方の利用をお待ちしています。

【期間】 平成28年4月～平成29年3月

【開放時間】 (学校行事に支障がない範囲で開放)

【使用申込】 教育委員会社会教育係
(☎0165-35-2177)

	開放日	5月～10月	11月～4月
校庭	平日	午後5時～ 午後9時	午前9時～ 午後4時
	上記以外の日	午前9時～ 午後5時	
体育館	平日	午後5時～午後9時	
	上記以外の日	午後1時～午後5時	

巡回図書

巡回図書は、町民にきめ細かい読書サービスに努め、図書利用の促進と読書活動の普及に努めることを目的としています。ご希望により各ステーションへ図書のお届けもいたしますので、多くの皆様のご利用をお待ちしています。

【日程】 毎月2回 (平成28年4月～平成29年3月)

詳細日程は巡回先に掲示するカレンダーをご覧ください。

【場所】 ・幌加内町立病院 ・政和コミュニティセンター
・添牛内コミュニティセンター
・特定非営利活動法人 よるべさ (朱鞠内)
・朱鞠内みゆき保育所 ・朱鞠内小学校
・母子里コミュニティセンター

「町内合同清掃活動」開催のお知らせ

昨年に引き続き、「町内合同清掃活動」を実施します。町内の児童生徒と交流を図りながら、私たちの住む町「ほろかない」をきれいにしましょう。

【日 程】 平成28年5月18日(水)

※時間は後日お知らせします

【活動場所】 (1)幌加内市街 (集合場所：幌加内小学校・幌加内中学校・幌加内高校前)
(2)朱鞠内市街 (集合場所：朱鞠内小学校前)

【持ち物】 ごみ袋 (レジ袋等がかまいません)、軍手 など

【お問合せ】 教育委員会社会教育係
(☎0165-35-2177)



図書室だより



◇平成27年度ベストリーダーのご紹介

昨年度1年間で最も利用が多かった本をご紹介します。

【一般書】

- 第1位 火花 又吉直樹／著 (文藝春秋)
第2位 満願 米澤穂信／著 (新潮社)
ラブラスの魔女
東野圭吾／著 (KADOKAWA)
第4位 サラバ! 上巻
西 加奈子／著 (小学館)



【児童書】

- 第1位 鹿の王 上巻
上橋菜穂子／著 (KADOKAWA)
第2位 鹿の王 下巻
上橋菜穂子／著 (KADOKAWA)
第3位 パンダ銭湯
tupera tupera／作 (絵本館)



◇今月の新しい本

- ・ははがうまれる 宮地尚子／著 (福音館書店)
- ・女神 (探偵・竹花) 藤田宜永／著 (光文社)
- ・教場 2 長岡弘樹／著 (小学館)
- ・気仙沼ミラクルガール 五十嵐貴久／著 (幻冬舎)
- ・拳の先 角田光代／著 (文藝春秋)

生涯学習カレンダー

月	日	内容	場所	時間
4月	19日(水)	おはなしぴよぴよ	子育て支援センター	11:00～
	21日(金)	チビッツ英語クラブ	アトリエ	2,3年生 16:00～
	22日(土)	チビッツ英語クラブ	アトリエ	4～6年生 15:40～
5月	10日(水)	おはなしぼかぼか	みゆき保育所	10:00～
	17日(水)	おはなしぴよぴよ	子育て支援センター	11:00～
	18日(木)	町内合同清掃活動	幌加内市街 朱鞠内市街	
	19日(金)	チビッツ英語クラブ	アトリエ	1年生 15:15～ 2,3年生 16:00～
	20日(土)	チビッツ英語クラブ	アトリエ	4～6年生 15:40～
	28日(土)	おはなしにここに	図書室	11:00～

※4月23日(土)予定の「おはなしにここに」は、16日(土)に変更になりました。

新規採用職員

質問事項 ①出身地 ②抱負



教育委員会学校教育係

川内谷 晋吾

①日高町
②初めての仕事に戸惑うばかりですが、精一杯取り組みますので、よろしくをお願いします。



深川地区消防組合幌加内支署

鈴木 恭平

①江別市
②憧れの職業であった消防士として働き、町民の安心安全のため、一生懸命がんばりますので、よろしくお願いたします。



深川地区消防組合幌加内支署

石川 義光

①芦別市
②わからない事を教えてもらい、早く仕事を覚えたいと思います。イベントなどにも積極的に参加したいと思いますので、よろしくをお願いします。



総務課庶務係

西成 亜姫奈

①名寄市風連町
②1日も早く仕事を覚えたいように、精一杯がんばり、町民の役に立てようになりたいと思います。



総務課税務係

村上 隼哉

①旭川市
②わからない事が多くありますが、早く仕事を覚え、町民の役に立てようがんばります。

Public Relations Magazine

Horokanai

広報ほろかない4月号
2016 APRIL No.724

編集室から

新年度に入り、新しい環境へ変わられた方も多いのではないでしょうか。新しい環境では、わからないこと、不安に感じること、他にも困難に感じることもあるでしょう。しかし、初めはわからなくて当たり前です。自分のできることからコツコツと成し遂げていきましょう。

おくやみ申し上げます

3月10日 松本 幹子 様 86歳

3月12日 山口 いと 様 95歳

3月19日 市川 美津子 様 66歳

ご結婚おめでとう

3月20日 西山 慎也さん・川嶋 麻妃江さん

ご厚志に感謝します

◆ 社会福祉協議会に ◆

3月4日 中谷 勉 様 (母 邦子様の葬儀に際して)

3月4日 清原 光子 様 (夫 勝三様の葬儀に際して)

3月16日 山口 久美子 様 (母 いと様の葬儀に際して)

3月23日 上西 信昭 様 (離町に際して)

3月24日 幌加内町女性団体連絡協議会 様 (社会福祉事業に)

3月28日 市川 春矢 様 (妻 美津子様の葬儀に際して)

3月29日 小野 茂樹 様 (離町に際して)

◆ 一般寄付 ◆

3月9日 渡部 健吾 様 (神奈川県)

◆ 奨学資金として ◆

2月23日 上西 信昭 様 (離町に際して)

ひとのうき

今月の表紙 みゆき保育所 卒園式

3月22日(火)に、みゆき保育園で卒園式が行われました。わが子の成長していく姿を見るのは両親、祖父母にとっては大変うれしく感動的なイベントですよね。



おめでとうございます!!!

町の人口

Population

(3月末現在)



世帯数 790世帯
(前月比-2)

人口 1,550人
(前月比-8)

男 765人

女 785人